

いろいろな関数を振り返ってみよう。

学習した色々な関数をリストアップしてみましょう。

学習学年

例

中学 1 年生では

$$y = ax$$

$$y = \frac{a}{x}$$

中学 2 年生では

$$y = ax + b$$

中学 3 年生では

$$y = ax^2$$

数学 I では

$$y = ax^2 + bx + c$$

数学 II では

$$\textcircled{1} y = x^3 - 6x^2 + 9x$$

$$\textcircled{2} y = \sin x$$

$$\textcircled{3} y = \cos x$$

$$\textcircled{4} y = a^x$$

$$\textcircled{5} \log_a y = x$$

数学 III では

$$\textcircled{6} y = \frac{1}{x-1}$$

$$\textcircled{7} y = \sqrt{x}$$

$$\textcircled{8} \text{逆関数}$$

一般的な名称で述べると

中学 1 年生では	正比例
	反比例
中学 2 年生では	1 次関数
中学 3 年生では	x の 2 乗に比例する
数学 I では	2 次関数
数学 II では	3 次関数
	正弦関数
	余弦関数
	指数関数
	対数関数
数学 III では	分数関数
	無理関数
	逆関数

関数の名称	定義&性質
正比例	$y=ax$ 原点を通る直線
反比例	$x y = a$ 双曲線
1 次関数	$y = ax+b$ $y=ax$ のグラフを y 軸方向に b だけ平行移動
x の 2 乗	$y=ax^2$ 原点を通る放物線
2 次関数	$y = a(x+\frac{b}{2a})^2 - \frac{b^2-4ac}{4a}$ $y=ax^2$ のグラフを x 軸方向と y 軸方向に平行移動
3 次関数	$y = ax^3+bx^2+cx+d$ 導関数を用いて極大値極小値を求めてグラフを描く
正弦関数	
余弦関数	
指数関数	$a^x = y$
対数関数	上の関係を $\log_a y = x$ と表す
分数関数	分母に x の関数がある
無理関数	$y = \sqrt{x}$ ただし $x \geq 0$
逆関数	x と y を入れ替えた関数 $y = x$ に対称

正比例

$$y=ax$$

原点を通る直線

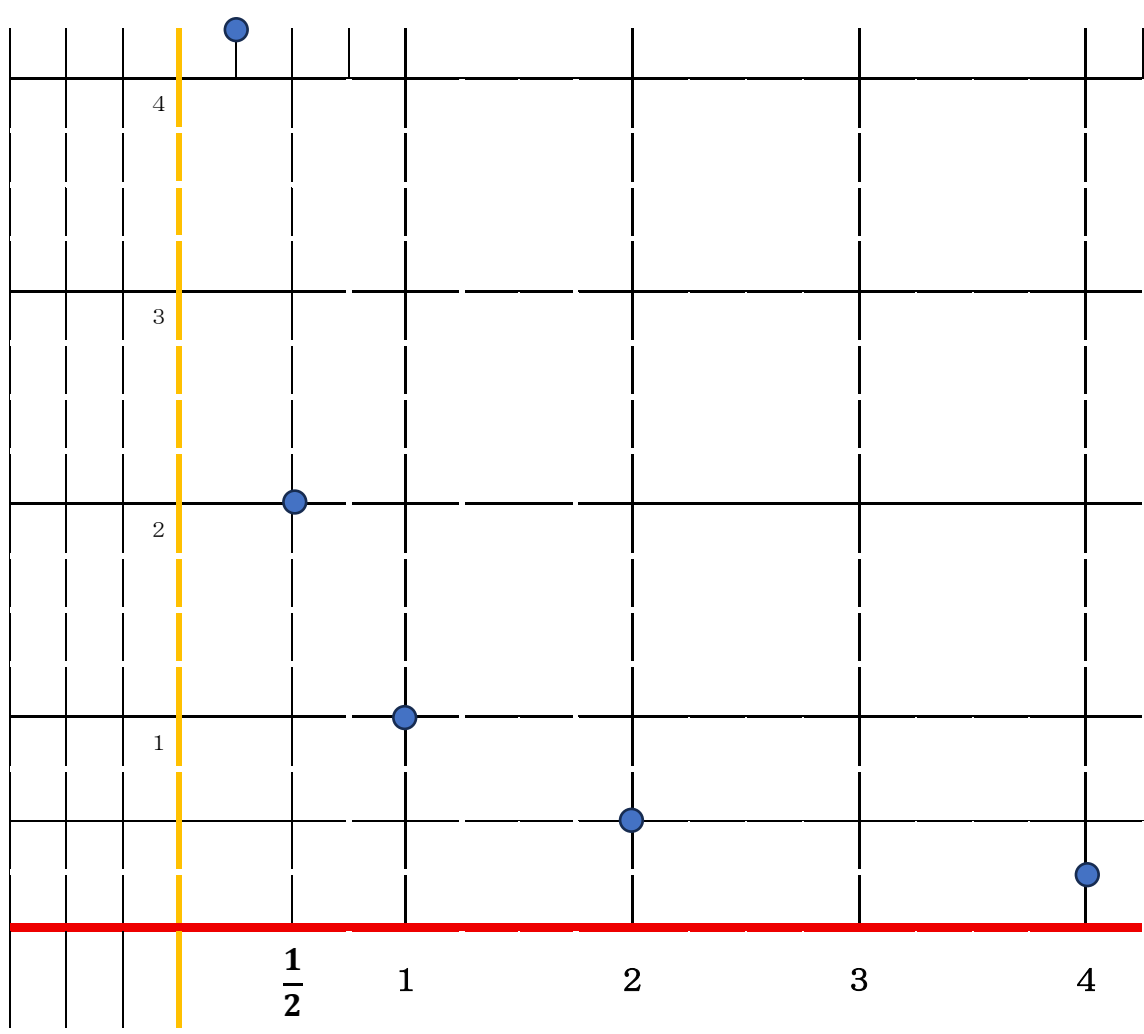
原点を通る直線。



反比例 積が一定

$y = \frac{1}{x}$ ならば、

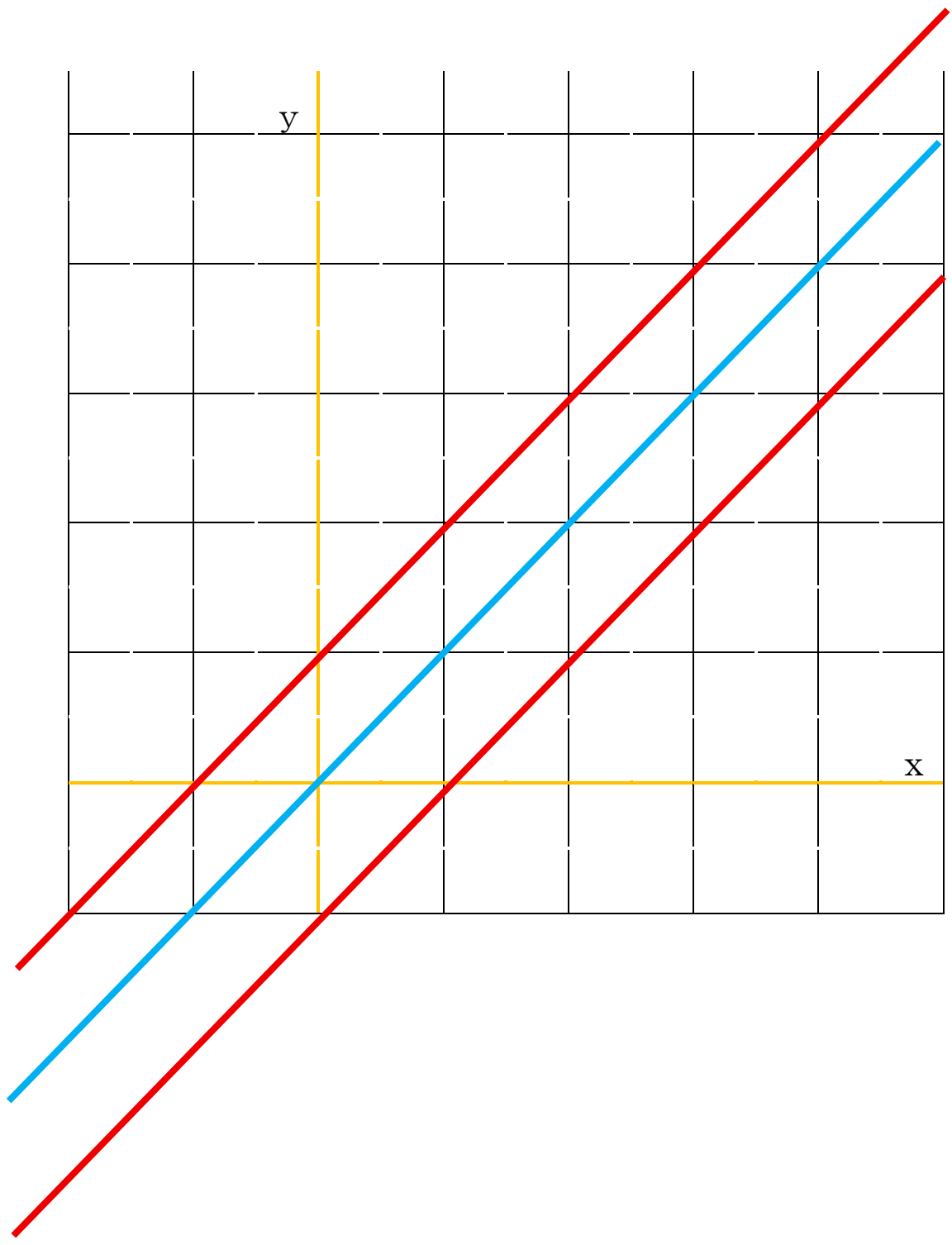
x	0	$\frac{1}{4}$	$\frac{1}{2}$	1	2	4
y	ナシ	4	2	1	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{4}$
$x \cdot y$	ナシ	1	1	1	1	1



1 次関数

$$y = ax + b$$

$y = ax$ のグラフを y 軸方向に b だけ平行移動

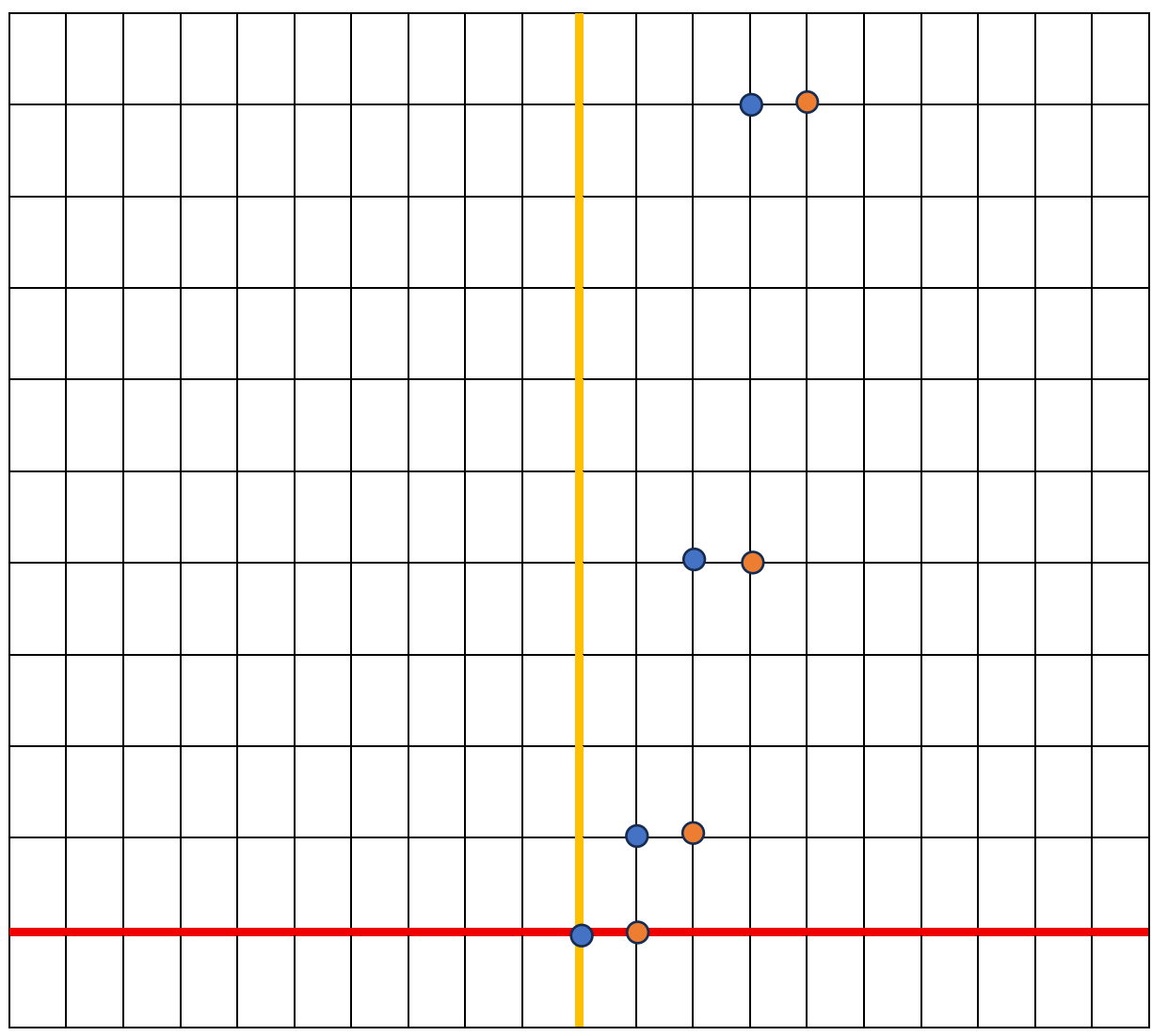


$$y = x^2$$

中学3年では2次関数のうち、
2乗の項だけの関数

●は、 $y = x^2$ の x が

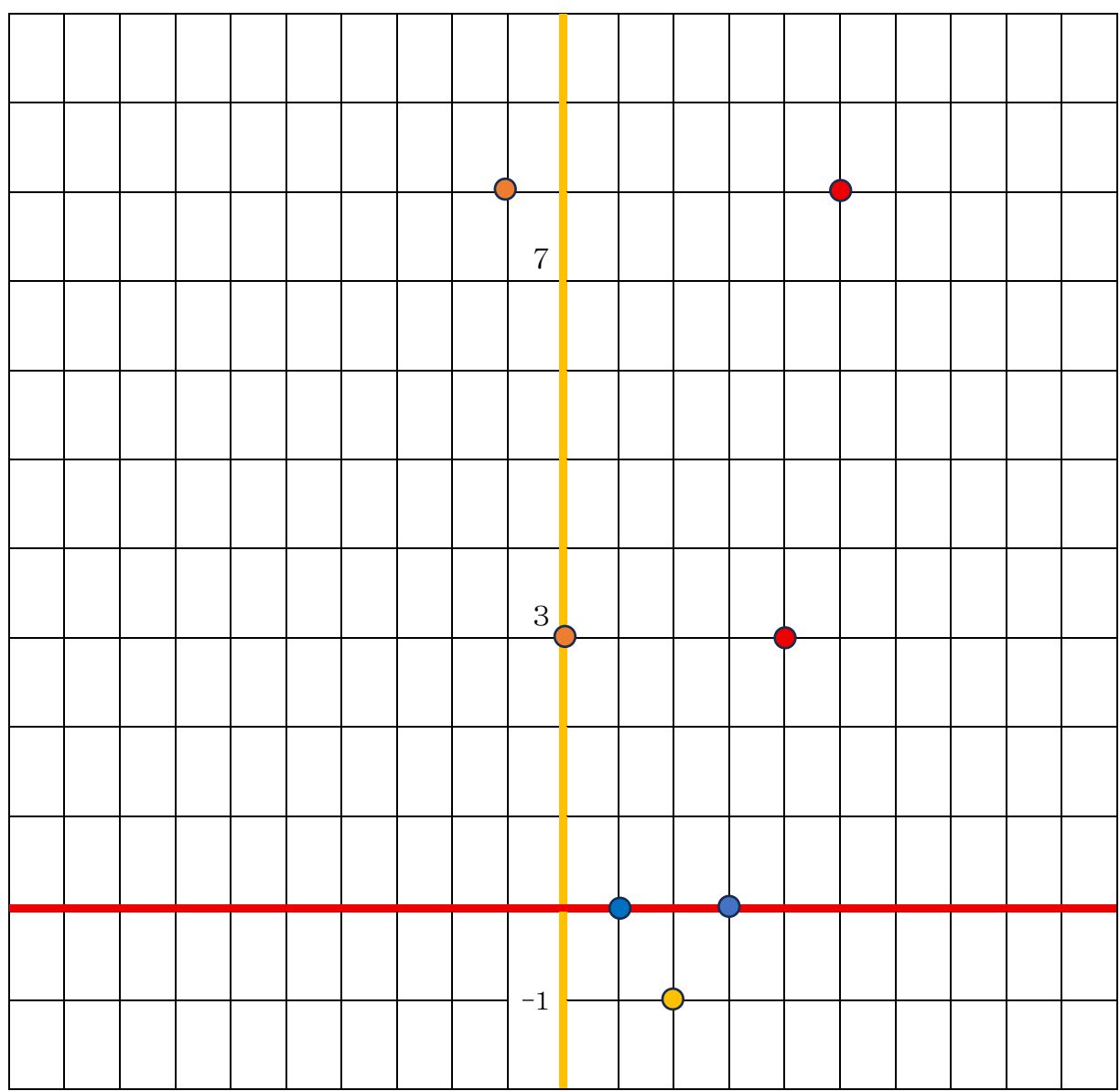
0, 1, 2, 3 のときの **座標** です。



●は何を表しているでしょうか。

2 次関数 同じ関数の別の形から見えるもの。

A	$y = x^2 - 4x + 3$	●
B	$y = (x - 1)(x - 3)$	●
C	$y = (x - 2)^2 - 1$	●



3 次関数

一般式は $y = ax^3 + bx^2 + cx + d$

導関数を用いて極大値極小値を求めてグラフを描く

$$f(x) = x^3 - 6x^2 + 9x$$

$$f'(x) = 3x^2 - 12x + 9$$

$$f'(0) = 0 - 0 + 9 = +9$$

$$f'(1) = 3 - 12 + 9 = 0$$

$$f'(2) = 12 - 24 + 9 = -3$$

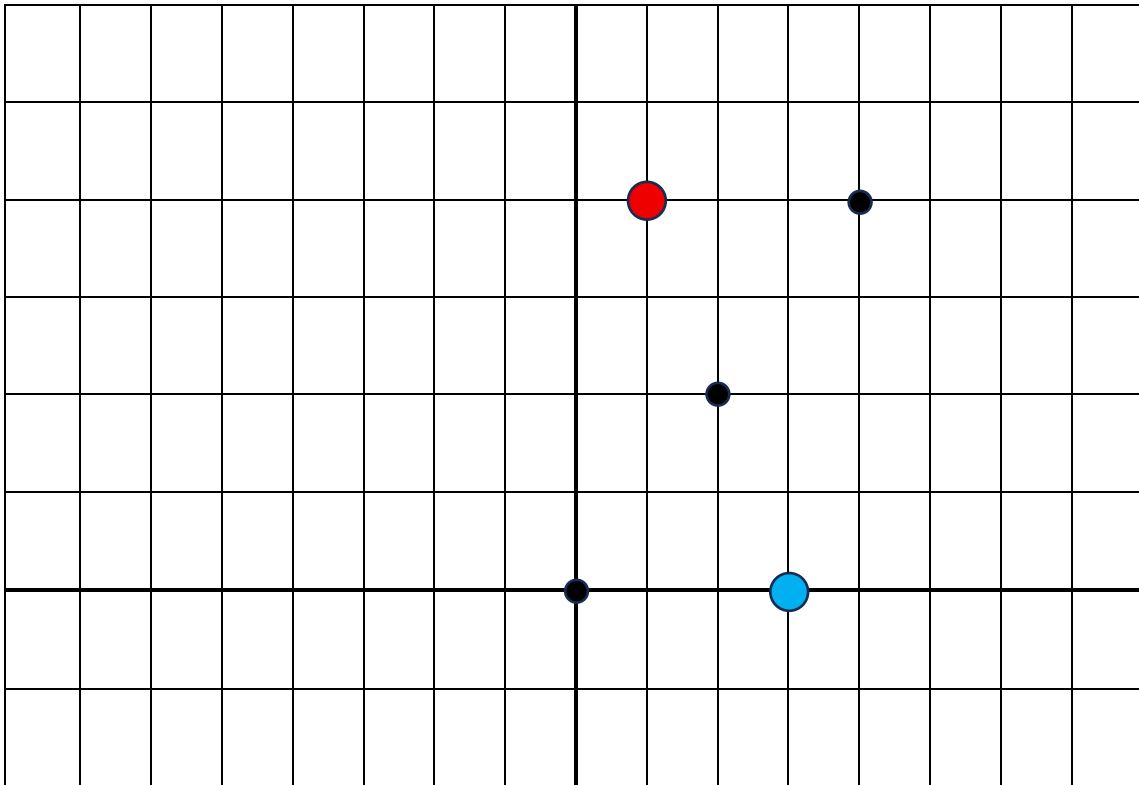
$$f'(3) = 27 - 36 + 9 = 0$$

$$f'(4) = 48 - 48 + 9 = 9$$

x が **1** と **3** のとき微分係数が **0** となりますから、
そこで接線の傾きは x 軸と平行になります。

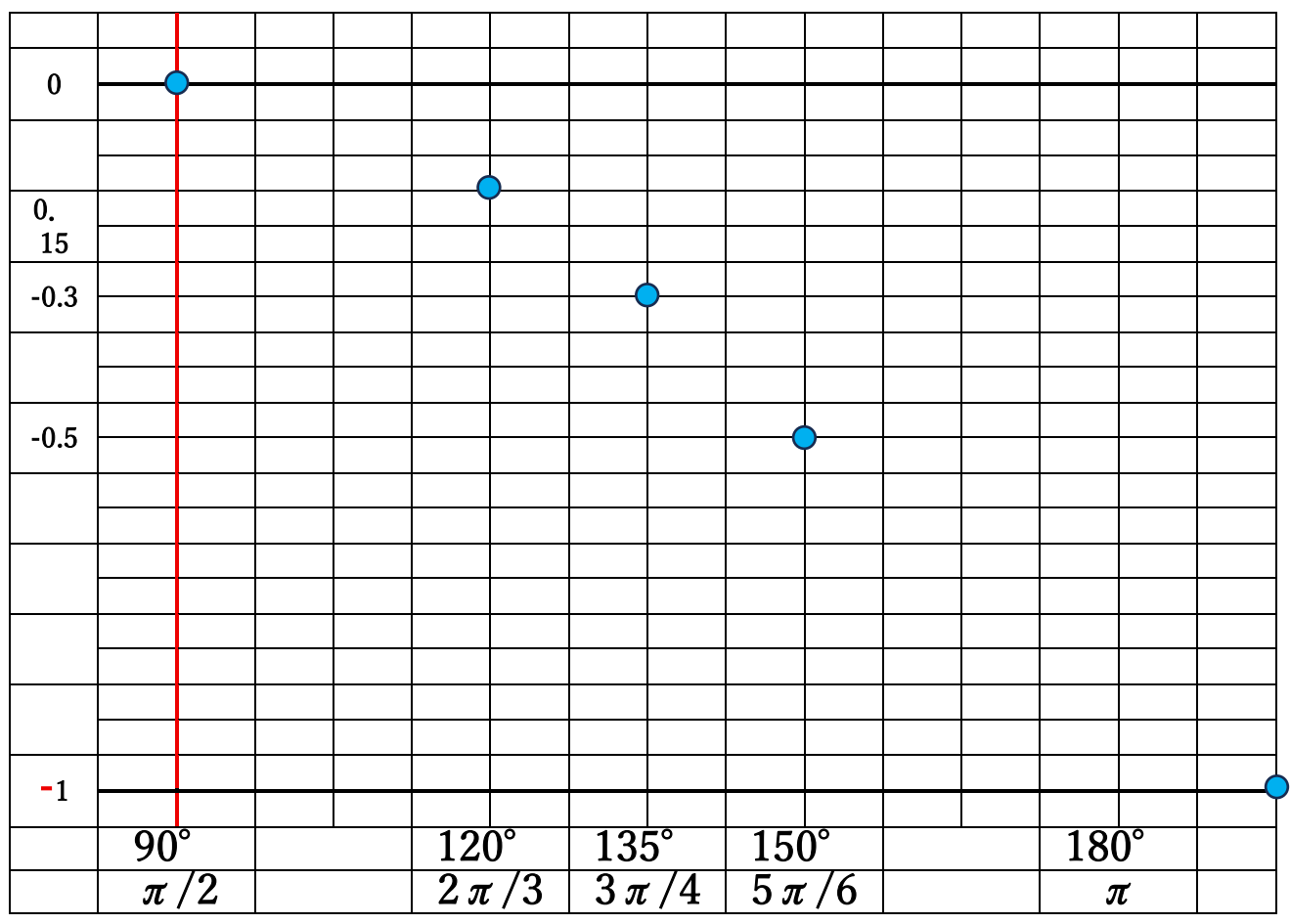
増加から減少

減少から増加の変わり目です。



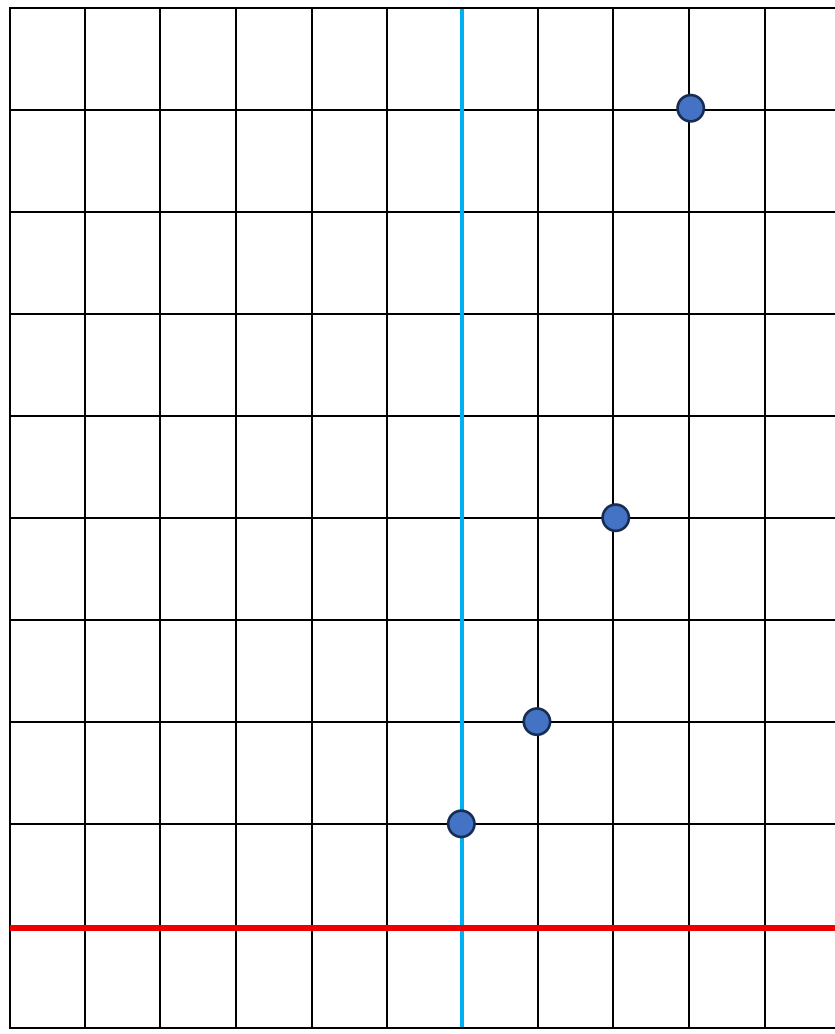
線を補ってください。

コサイン **COS** の **グラフ**



指数関数 $2^x = y$

座標に表すと、下のグラフ。

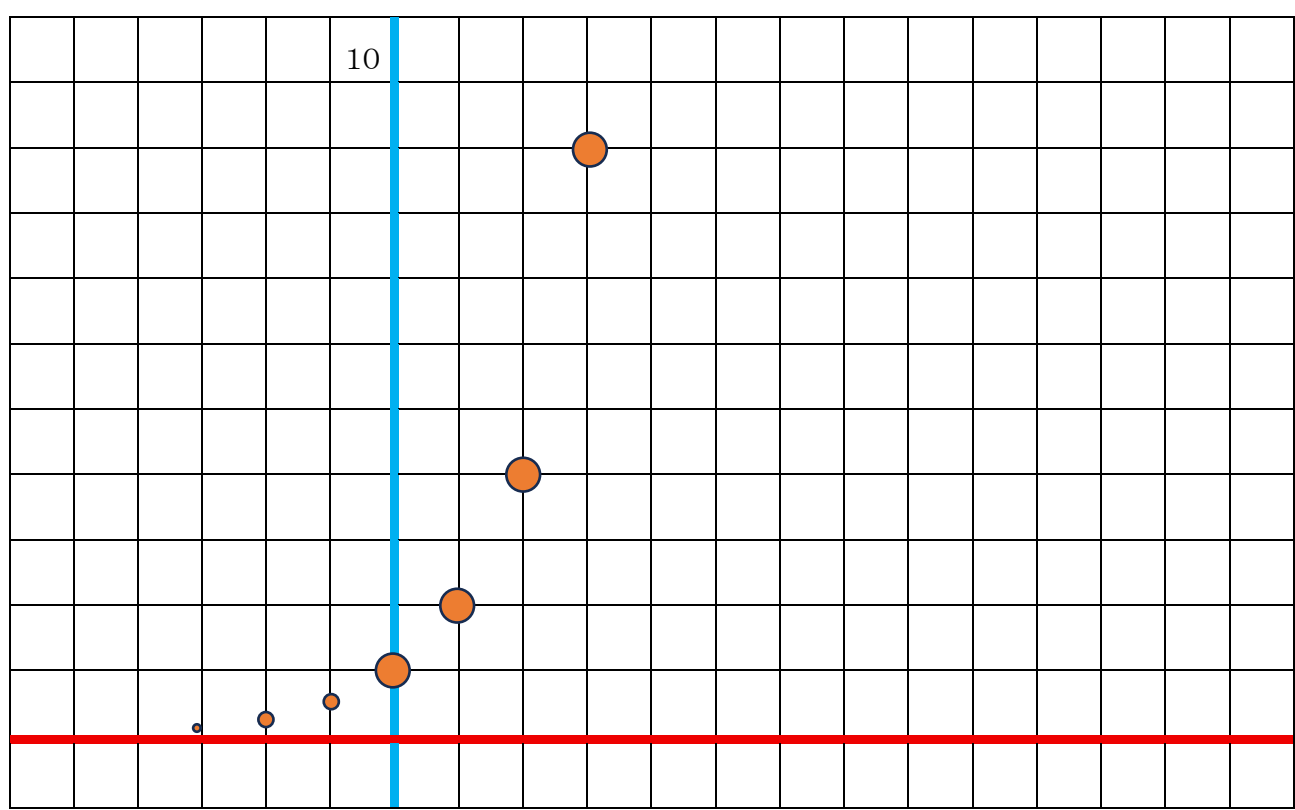


急激に増えることを
指数関数的に増える
と言います。

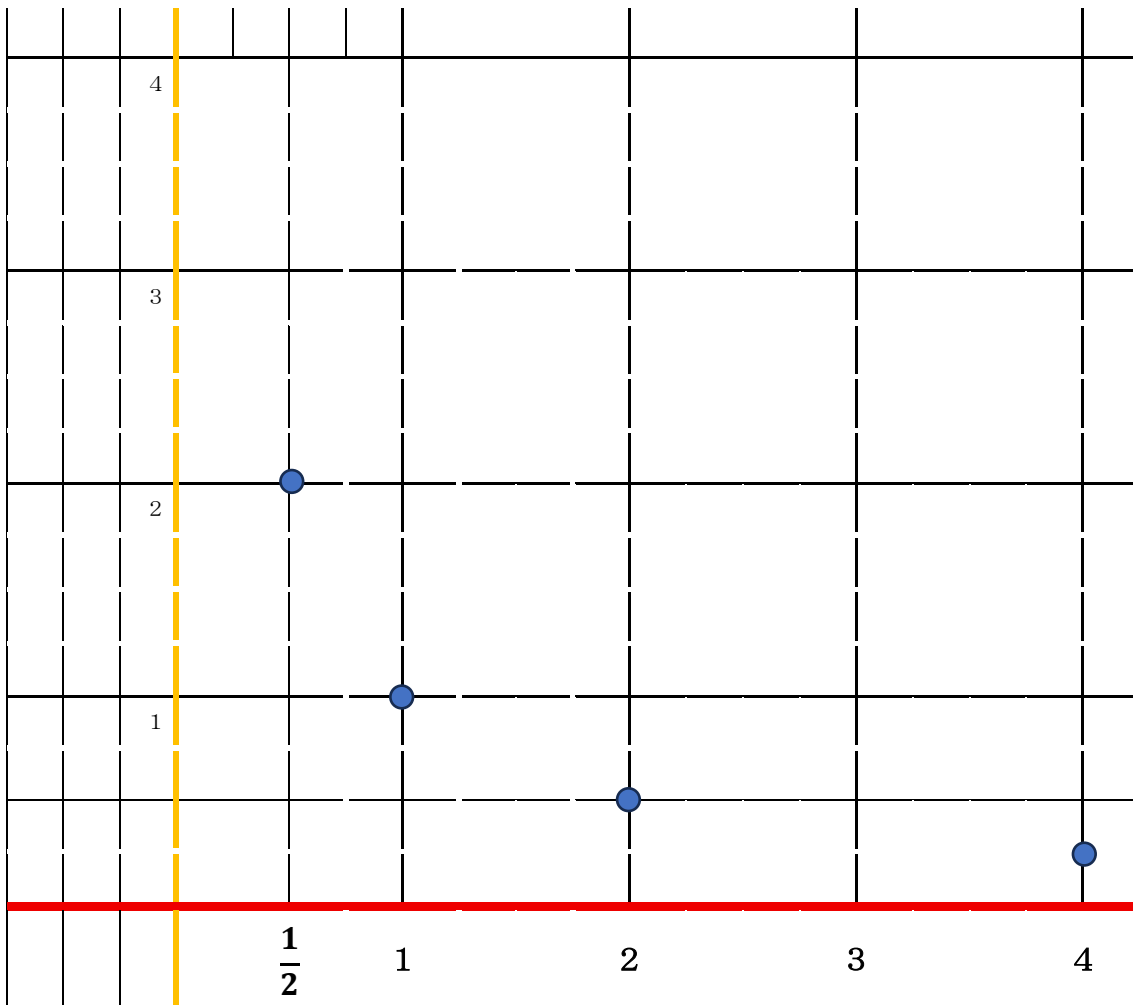
対数関数 上の関係を $\log_a y = x$ と表す

$2^x = y$ とすると、グラフは下の通り。

これは、 $\log_2 y = x$ と同じ関係を表している。



分数関数のグラフは

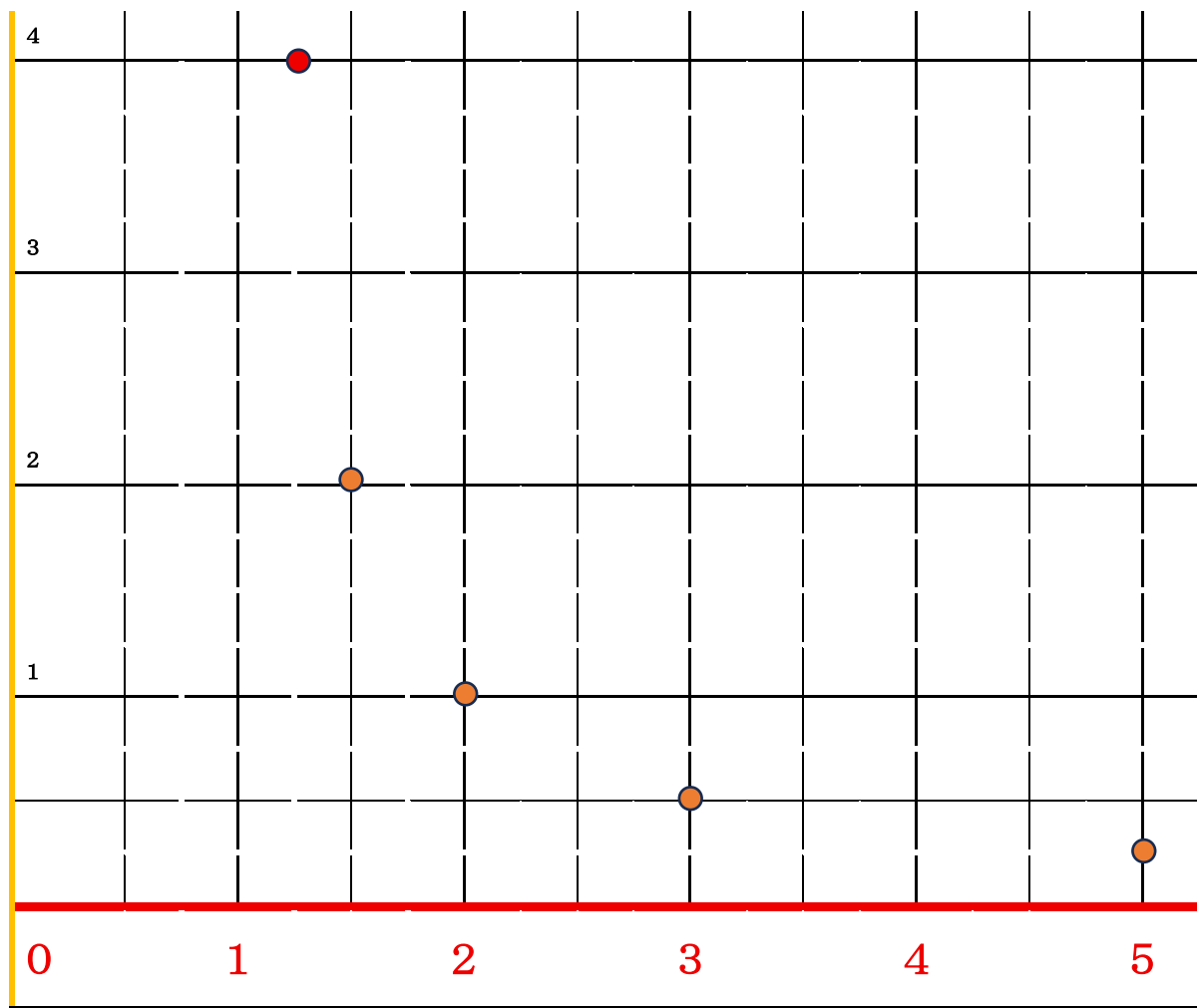


反比例のグラフを x 軸方向に移動したグラフとなります。

$y = \frac{1}{x-1}$ ならば、

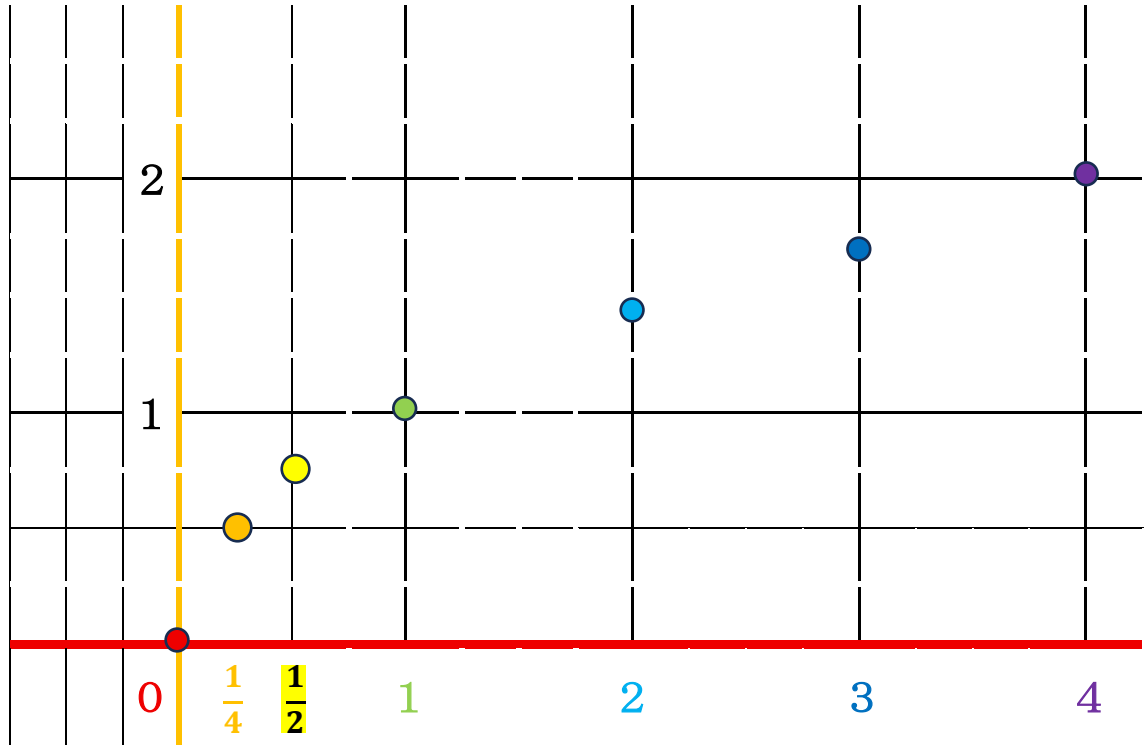
x	1	$\frac{5}{4}$	$\frac{3}{2}$	2	3	5
y	なし	4	2	1	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{4}$

グラフに表してみましょう。1つずつ確認しなさい。



無理関数 $y = \sqrt{x}$ ただし $x \geq 0$

$$y = \sqrt{x}$$

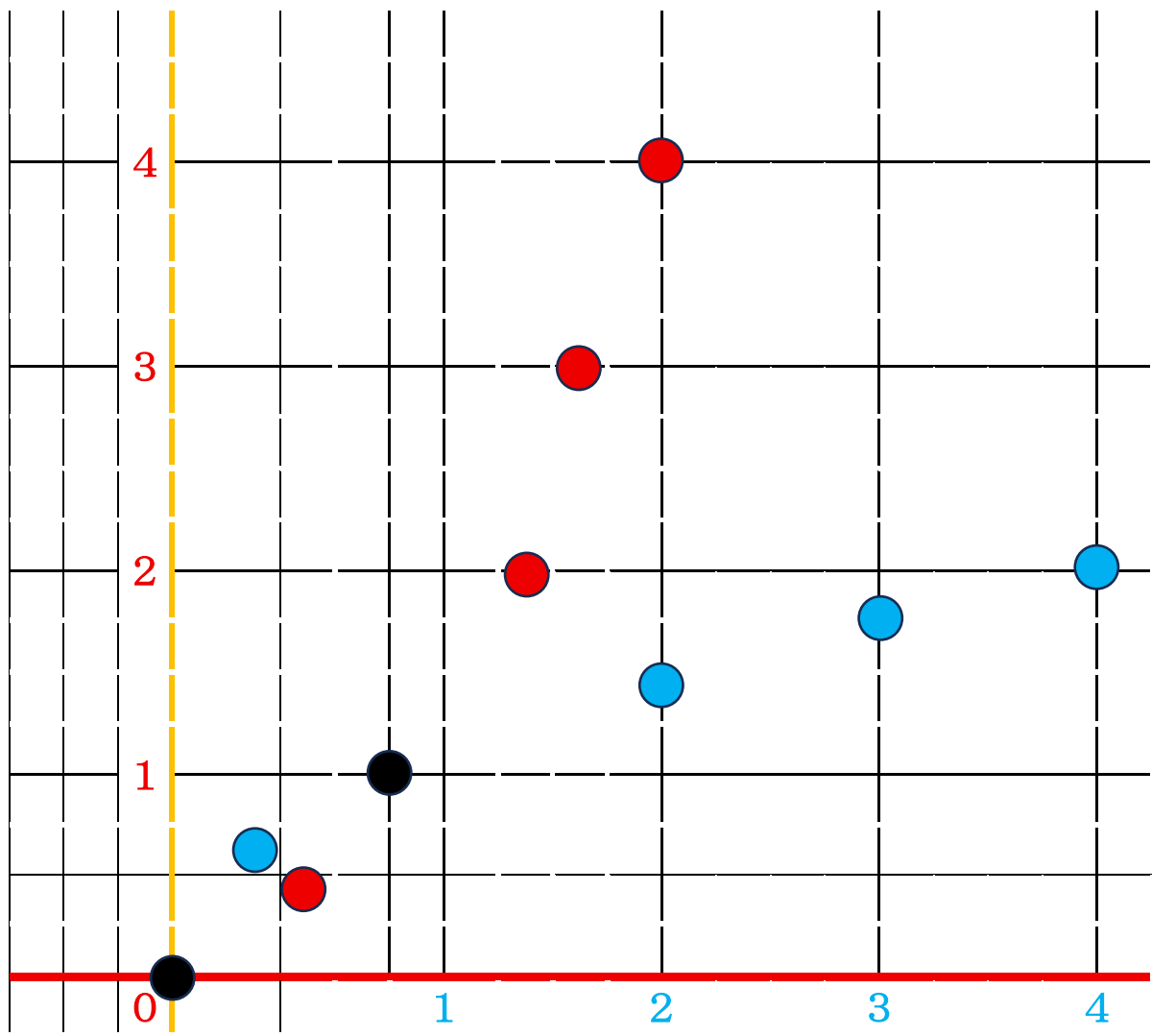


逆関数

$y = x^2$ の y と x とを入れ替えて

$x = y^2$ x を **正の範囲** で見ると $\sqrt{x} = y$

●は両者に共通。



関数 $y=f(x)$ の

x と y を入れ替えてできた関数

$$x = f(y)$$

$y = f(x)$ の **逆関数** と呼ぶことにしましょう・

逆関数 は

$y = x$ の **グラフ** について **対称** です。

いろいろな関数のグラフを見ました。

全てをすらすらと思い出せますか。